



早良区





早良区のまちづくりの目標

1 区の特徴

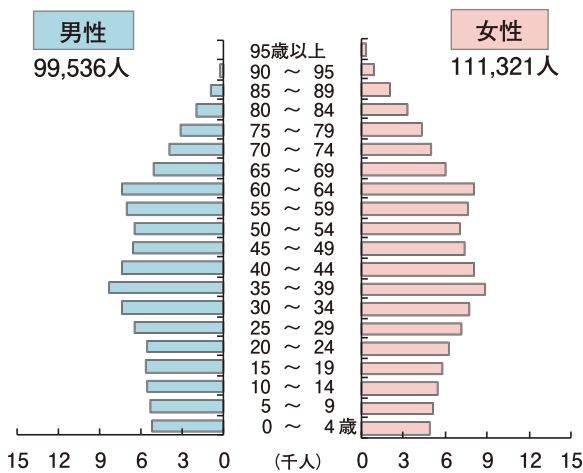
- 早良区は南北に長く、山、川、海と豊かな自然に恵まれた多様な魅力にあふれたところです。北部は、商業・文教・交通の拠点として近代的な街並みを有し、中部は、閑静な住宅地域が広がり、南部は、緑と自然が豊かな農業・住宅地域です。
- また、蒙古襲来に備えて築かれた元寇防塁や黒田藩の御用窯だった高取焼など歴史的な資産が多い地域です。
- 早良区は、1972年(昭和47年)の指定都市への移行に伴い設置された西区が、1975年(昭和50年)の旧早良町との合併を経て、1982年(昭和57年)に早良、城南、西の3区に分区され、誕生しました。
- 区内に、西南学院大学や福岡歯科大学などがあり、その知的資源を生かした公開講座や地域交流拠点としての大学施設の提供、また、子育て支援のための西南子どもプラザの運営受託など、大学、地域、行政の連携が進んでいます。

2 現状と課題

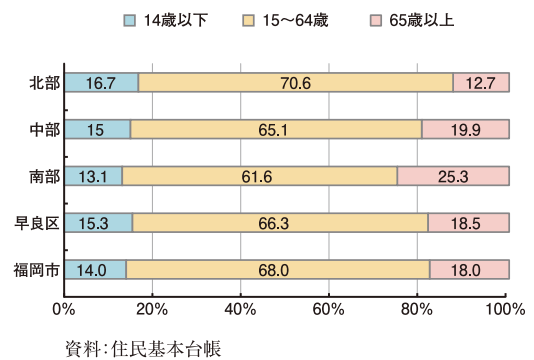
- 区北部の地下鉄沿線の西新・藤崎は、活気あふれる商業地域として発展を遂げ、高校、大学、インターナショナル・スクールなどの文教施設のほか、区役所、市民センターや警察署、税務署などの行政機関も多く集中している地域です。
- また、都市の成長を推進する活力創造拠点であるシーサイドももちでは、福岡タワーや近代的な建物がある住宅地と博物館、総合図書館、ソフトリサーチパークや放送局などの文化・情報技術関連施設が集積しており、西新・藤崎と共に福岡市の西部拠点となっています。
- この地域は隆盛期から成熟期を迎え、一層の活性化が課題となっており、そのためには、西新、藤崎地区とシーサイドももち地区の一体感、回遊性の向上などにより、さらなる拠点形成が望まれています。

- 区中部の原や飯倉、有田などは、昭和40年代に大規模な住宅団地が建設され、幹線道路の沿道には商業施設や集合住宅が多く立地しています。近年、団地住民の高齢化や人口の減少により、地域コミュニティづくりに支障を来す状況も見受けられます。
- また、野芥・賀茂・次郎丸などでは、地下鉄七隈線や平成外環通り、福岡都市高速道路5号線の完成に伴い人口が増加しており、新たなまちづくりが進んでいます。
- 区中南部地域における区レベルの行政サービスを補完する施設として、地域交流センターの早急な整備が望まれています。
- 豊かな自然に恵まれた区南部地域は、脊振山系の豊かな清流を生かした市内でも貴重な農業地域であり、また、林業地域でもあります。一方で、高齢化、過疎化による農林業の後継者不足のため、森林の荒廃や耕作放棄地の問題が発生しています。また、野河内溪谷、花乱の滝、坊主ヶ滝など豊かな自然を生かした市民の憩いの場としての環境整備や市民の日常生活に必要な交通手段である公共交通機関の維持が課題となっています。

■ 早良区 5歳階級別人口



■ 早良区地域別年齢構成(平成24年3月末現在)



Ⅲ 区のまちづくりの目標 早良区

3 まちづくりの目標と取組みの方向性

ひと・みず・みどりが光り輝く「早良区」ふれあいと交流のあるまち

お互いが支え合い安心して暮らせるまち

保健、福祉、子育て支援が充実し、高齢者や障がいのある人をはじめ、すべての市民が尊重され健康でいきいきと暮らし、子どもが夢をもって健やかに成長できる環境づくりを進めます。また、就労支援など、生活の安定に向けた取組みも進めます。

地域社会を担う人材を育成するとともに、地域コミュニティと行政が共働(※)で、誰もが参画し、活躍できるまちづくりを進めます。

さらなるごみ減量やリサイクル推進など、資源を大切にされた環境に優しいまちづくりを進めます。

地域の防災活動の支援や、災害時の被害の最小化を図る減災対策を推進するなど、地震や風水害などの災害に強いまちづくりを進めます。

市民、地域、警察、行政が連携し、犯罪や交通事故を未然に防ぎ、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

早良区の特性を生かした魅力あるまち

郷土の歴史や伝統文化、脊振山系や室見川などの豊かな自然を保全し、郷土に誇りと愛着をもち、次世代へ継承していきます。

地域の特産品、歴史や史跡などの地域資源を生かした地域ブランドを育てていきます。

山、川、海などの豊かな自然と地域の歴史や美しい街並みなど、四季折々の多様な魅力を観光資源として磨き、育てることで、多くの人々が訪れ交流が生まれる魅力あるまちづくりを進めます。

(※) 共働：相互の役割と責任を認め合いながら、対等の立場で知恵と力を合わせて共に行動すること。

地域の魅力を生かしたまち

早良区は南北に長く北部、中部、南部が異なる特性をもっています。それぞれがもつ地域性や魅力を生かしながら一体感のあるまちづくりを推進します。

◆活力とにぎわいのあるまち 北部

文教・行政・商業・交通機能を有する西新・藤崎地区と観光・情報技術関連施設や文化・教育施設を有するシーサイドももち地区とが回遊性を高め、一体となった活力とにぎわいのある拠点のさらなる形成を進めます。

また、大学や企業・商店街などと連携した活力あるまちづくりを進めます。

◆地域の新しい拠点となるまち 中部

地下鉄七隈線や平成外環通りの沿線を中心に新たなまちの形成が進み、商業施設や住宅が融和した便利で快適に暮らせるまちづくりを進めます。

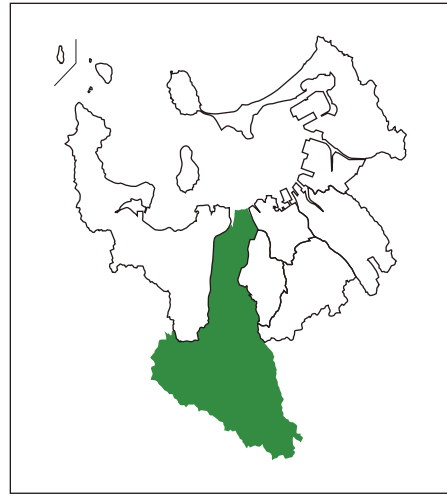
また、地域交流センターの早期整備を図り、同センターを中心に、文化・スポーツ活動や市民交流が広がり、市民がお互いに支え合う自律したコミュニティがあるまちづくりを進めます。

◆豊かな自然を生かした市民の憩いのまち 南部

脊振山系や野河内溪谷などの豊かな自然を守り生かしていくことにより、人々が集う憩いのまちづくりを進めます。また、集落営農などによる農業の活性化や、体験農園、特産品販売所などを通して、地元との交流が生まれる活力あるまちづくりを進めます。

また、交通手段については、地域住民の生活や通勤・通学の重要な足であり、観光客を呼び込むためにも必要なことから、その維持・確保に努めます。

早良区地図概要



北部拡大図



III 区のまちづくりの目標 早良区

